

事業所名: グループホーム けやき


作成日: 2021 年 12 月 22 日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	28	法人全体でアセスメント用紙の改良を続けてこられた。今後も更にADL・IADL等の有する能力(できそうな能力)の記録を増やすと共に、心身状態が重度の方もご本人の役割を記入していきたいと考えている。	介護支援専門員を中心に、アセスメント用紙の見直しや改良の継続を行い、アセスメントや個別援助計画等とケアを連動させる事が出来る。	アセスメント用紙の改良(ADL・IADLのできそうな能力の記載)を行い、改良したアセスメントを基に、担当職員で作成する個別援助計画にも、作成を行い、全職員で共有を図り、より、安全で安心できるケアを提供していく。	12 ヶ月
2	37	11月11日の訓練時、消防署から「2階の北側外のスペースも避難経路に使える」というアドバイスを受けており、今後も更なる安心安全な避難方法(スロープや階段の設置等)の検討を行っていくと共に、業務継続計画(BCP)を定期的に見直し、各職員と共有していく予定である。	災害における業務継続計画(BCP)の策定(上層部を中心に)を行い、全職員で共有を図り、定期的な見直しを行う事で、安心安全な災害時の備えができる。	毎月の防災目標を立てて、自主訓練(毎月の職員会議)の継続を行い、災害を想定した避難訓練(年2回)にて、安心安全な避難方法の習得や検討を行い、業務継続計画(BCP)の策定・見直しを定期的に行い、各職員と共有を図っていく。	24 ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月